



あけましておめでとうございます。今年も保育士会をよろしくお願いいたします。

不適切な保育の報道を受け開催された、緊急セミナー「子どもの最善の利益」を守るために（全国保育協議会・全国保育士会 共同開催）は各園、全職員の先生方でご覧いただいたことと思います。

本セミナーは、すべての保育所・認定こども園等において、子ども主体、子どもの権利擁護という保育の基本を再確認したうえで、**園長**においては子どもたちの安全安心を守る園の組織づくりという視点から、**保育士・保育教諭等**においては「子どもの最善の利益」を守る専門職という視点から、日々の保育をあらためて見直すため、緊急開催されました。

すべての子どもは豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられる存在です。

子どもにとって保育所・認定こども園は、**安全・安心な場**であるべきです。また、私たち保育所、認定こども園職員は、子どもに関わる専門職として保育所保育指針で「子どもの人権に配慮した保育となっているか、常に全職員で確認することが必要」とされているとおり、**「子どもの人権」の保障を基本とした保育を行わなければならない。**

本セミナーは2月17日まで動画配信されています。繰り返しご視聴いただくこと、全職員が視聴し、一度考える、紹介された全国保育士会倫理綱領及び学習シート、人権擁護のためのセルフチェックリスト等に定期的に取り組むことなどがとても大切です。自分たちの果たすべき役割、子どもの最善の利益とは何か深く考えること、園で職員同士が語り合うこと、保育を振り返り省察する機会とし、さらに良い保育に取り組んでいきましょう。

不安でどう保育をしたらいいかわからない、新学期に向けてもう一度考えてみよう・・・現場の向上のため、先生たちが自信をもって保育に取り組むため、一緒に学び続けましょう。

- ・保育の安全研修会（熊本市保育園連盟）  
R5年1月24日（火） 国際交流会館ホール
- ・全国保育士研修会（全国保育士会）  
R5年1月26, 27日（木, 金）新横浜プリンスホテル
- ・九州ブロック保育士会リーダーセミナー  
R5年1月16日（月） 福岡市チクモクビル

※他 子ども、保育関連の研修

- ・日本保育ソーシャルワーク学会（R5.1/21（土））WEB
- ・九州小児在宅医療支援研修会（R5.1/22（日））WEB
- ・熊本小児保健研究会（R5.3/12.（日））WEB

もうすぐ立春。

節分で豆まきをされる園も多いと思います。では、立春とは？節分とは？に豆をまくのはなぜ？何のための行事？うちの園に必要？など恒例だからではなく、行事一つについても目的や方法を見直す、豆の誤嚥や誤飲、鼻や耳に入れたり事故がないような工夫や注意等職員で再確認をしていきましょう。想像することで子どもたちの命を守れます。想像し創造することは新しい楽しい保育の展開を生みます。

〈クイズ〉誤嚥と誤飲の違いは？

どんな対応をしますか？

## 九州ブロック保育士会リーダーセミナー報告

内容：『保育所、認定こども園を取り巻く状況と最近の動きについて』

講師：馬場耕一郎氏（内閣府、おおわだ保育園理事長）

### 1 こどものバス送迎・安全徹底プラン

なぜ、国が放置できない状態になったのか←最後の砦であるはずの園長のミスで子どもが命を亡くすことが

2年連続で起こっていることが問題

参考「みんなの点呼で幼い命を守る」～子どものバス送迎・安全徹底マニュアル～

1 毎日使えるチェックシート・・・登降園の際だけではなく、お散歩や外遊びにも応用

2 園の体制の確認・・・全職員・関係者が共通認識をもって取り組む、園長の責任のもとで安全管理を徹底する体制を作る

安全管理の体制、保護者との連絡体制の確保等

3 送迎業務 ①登園時 ②降園時

4 ヒヤリ・ハットの共有

すぐに園長に報告、職員間で共有、ヒヤリハット事例を踏まえ再発防止

5 子どもたちへの支援

6 送迎用バスの装備等

2 危機管理（不審者侵入時の対応）の徹底

3 園外活動時等における園児の見落とし等の発生防止に向けた取り組みの徹底

4 虐待等の不適切な保育への対応等に関する実態調査について

5 「生命（いのち）の安全教育」（幼児期）

6 こども家庭庁・・・保育の現場での当たりまえ（こどもファースト）が社会の当たり前になる！

子どもの最善の利益⇒「こどもまんなか社会」

↳「子どもは儲かる！」と勘違いしている世の中

子どもではなく、子供ではなく、「こども」と表記していく

「こども基本法」

0歳から18歳（以上も含む場合がある）のこども

7 幼児教育の質の保障

・生涯の人格形成の基礎を培う重要なもの

・幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿

遊びは幼児期にふさわし学び

幼児教育と小学校教育の懸け橋特別委員会・・・幼少の懸け橋プログラム事業

8 少子化社会対策大綱

・多機能型地域子育て支援の新たな展開

「先生たちの頑張りはこどもの笑顔、こどもの未来につながっています」

〈九州ブロックセミナーに参加して強く感じたこと〉

少子化・・・でもこんな時だからこそ、質の高い保育ができる

質の高い保育でどんなこと？説明できる？

専門職として「こどもっていいだろう！」「保育っていいだろう！」

声高らかに一人ひとりが伝えていく。専門職の私たちが支えるから、安心して子どもを生んでね。保育ってすごいんだよ、一緒に働こう！子どものエネルギーに触れている私たちが発信者に！

